



3月 調布幼稚園だより

令和7年2月27日



『一年を振り返って』

園長 山形美津子

待ち遠しかった春の訪れがようやく感じられるようになりました。子どもの畑の紅梅も開花し、春の訪れを告げています。今年度の子どもの調布幼稚園での生活も残すところわずかになりました。

今年度最後の園だよりとなりますので、一年間の積み重ねについて振り返りたいと思います。

保護者会などでお話しておりますが、幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものです。心と体の基礎は乳幼児期に育ちます。ですから、この時期の毎日の生活の積み重ねがいかに大切であるかを改めて思うところです。

ご家庭での日々の生活習慣が体の基礎をつくり、日々の人とのかかわりが安定した心の基盤をつくることにつながります。毎日、お子さんの世話をしながら、食事のこと、衛生面のこと、幼稚園への送迎など、ご家庭との連携があつてこそその幼稚園生活です。そして子どもと触れ合い、声を掛け、時には真剣に向き合つて会話することもしてこられたでしょう。

幼稚園では毎日、毎日、沢山の体験を積み重ねてきました。子どもの「やってみよう」気持ちや興味関心や好奇心を大切にしながら、子ども自身がいろいろなことを見て、いろいろなものに触れて、感じて、直接体験ができるように保育に取り組んできました。特に自然体験においては、その時機を逃さずに計画的に進めてきました。また何かをやり遂げる体験では友達と一緒にやり遂げた喜びを感じたり、うまくいかないことも試行錯誤して乗り越えたり、友達とのかかわりでは自己コントロールをしたりなど、そのプロセスを大切にしながら、心の学びを繰り返してきました。

今の時期の子どもたちを見ると、その年齢に合った成長をし、運動面では体を動かして遊ぶことが大好きで毎日の外遊びを楽しんでいます。友達とのかけっこ、縄跳び、ドッジボール等、運動することでこの時期に大切な「体の基礎をつくる」ことができている。様々な遊びや活動においては、沢山の知識を得たり、製作を通して手先の技能が身に付いたりしてきました。友達とのかかわりにおいては、友達と一緒に生活をしてきた中で、友達が困っている時、悲しい時、「だいじょうぶ?」と言って、助けてあげたり、いたわりの言葉をかけてあげたりなど、お互いに思いやる気持ちを培ってきました。今では園内のあちこちで優しい言葉が聞かれます。そのような言葉に出会うと、子どもの成長を感じますし、大変嬉しい気持ちになります。

これからも調布幼稚園は、子どもたちの「生きる力」を育む保育に丁寧に取り組んで参ります。

この1年間、調布幼稚園の教育活動にご理解とご協力を頂きまして誠にありがとうございました。

何よりも毎日、お子さんの体調を整え、暑い日も寒い日も送り迎えをし、お弁当を作って送り出して下さった保護者の皆様に深く感謝申し上げます。

地域の皆様、いつも温かく見守ってくださりありがとうございました。お陰様で、子どもたちは、4月には進級、進学することができます。これからも子どもたちを見守り続けて頂ければ幸いです。

＜調布幼稚園の雛人形＞

昇降口に雛人形を飾りました。令和4年度、令和5年度、令和6年度の卒業記念品となっております。今年度の卒業生、3学年合わせての記念品です。七段飾りの立派なものです。

子どもたちは、それぞれの人形やお道具の意味や由来について先生の説明を聞きました。

また、自分たちが雛人形を作る際、じっくり見て本物に近づけるように作っていました。

送り迎えの際には、「立派な雛人形ですね」「人形の衣裳がとても豪華ですね」など声を掛けて下さる保護者の方もいらっしゃいます。末永く大切に飾って参ります。

3月の目標

全学年

- 寒さに負けず、園庭やグラウンドで固定遊具に挑戦したり、思い切り体を動かしたりして元気に遊ぶ。
- 日に日に暖かくなってきていることを感じとり、木々の芽吹きや花のつぼみ、開花など春の訪れに目を向け、興味や関心を広げる。
- 感染症予防のため、手洗いうがい等をしっかり行う。

年少組

- もうすぐ年中組になることを、楽しみにする。
- 今まで使ってきた遊具や用具を使ったり、身近な廃材や素材を使って遊びに必要な物を作ったりして遊ぶ。
- 自分の気持ちを表しながら、友達とかかわり、好きな遊びを友達と一緒に楽しむ楽しさを味わう。
- 家族や年中児、年長児に感謝の気持ちをもつ。

年中組

- 自分なりのめあてをもって遊び、自分の力を出して遊ぶ楽しさを味わう。
- 友達との遊びの中で、自分の思いを伝えたり、受け止めてもらった嬉しさを感じたりする。
- いろいろな遊びをする中で、友達とのつながりを感じ、遊びを進める。
- 家族や年長児など自分の周りの人に感謝の気持ちをもつとともに、自分たちの成長を喜び、進級することに期待をもち、楽しみにする。

年長組

- 残り少ない幼稚園生活を時間の見通しをもって行動するとともに、生活や遊びを十分に楽しみ、学年や学級の仲間と心を通わせ、楽しさを共有する。
- 卒業を意識し、小学校への関心と期待をもつとともに、自信をもって生活し、自分の成長を感じる。
- 皆で行う卒業式や課題に向かう構えや態度を身に付けていくとともに、緊張感をもって臨めるようにする。
- 園生活を今まで楽しく送ることができたことを感じ、先生や家族の方に感謝の気持ちを言葉や行動で表す。

大根を保存食の切干大根にして食べたよ

年長組が12月に収穫した大根！大きくみずみずしく立派に育って立派でしたね。一人ずつおうちに持ち帰り、おでん、豚汁、味噌汁などにして頂いたそうです。

余分に植えていた大根を、切干大根にして2月中旬に戻し、先生たちが調理して、みんなで頂きました。「干してたの見たよ」「細ーく切ってた」「お水に入れてフニャフニャになったよ」と、切干大根になる過程を話してくれ「甘くておいしい」ともりもり食べていました。

切干大根を初め、日本には梅干しや高野豆腐、たくあん、干し椎茸など、形を変え、味を変え長期間保存して食を楽しむものがたくさんありますね。このように保存食には先人の知恵がたくさん詰まっています。子どもたちが切干大根を通して、日本の食文化にも興味をもてるようにと願っています。色々な食材、保存食材ができた意味や文化に興味をもって元気に大きくなって欲しいです。



畝も作ってジャガイモの種イモを植えたよ

年中組は畑に初めての畝作りをし、ジャガイモの種イモを植えました。今まではプランター用に腐葉土と黒土、古い土を混ぜ、栽培を楽しんできました。今回は年長になって収穫できるジャガイモです。ジャガイモで実るまでに、テントウムシなどいろいろな虫も来ます。春が待ち遠しいですね。収穫まで、ジャガイモの生長を毎日のように見ながら、虫探しや虫取りも楽しむ事でしょう。ソラマメの生長や椿の花、水仙、紅梅などを見て、春の訪れを感じているようでした。

ビニール凧が風で勝手に上がっていくよ

氷点下の日が続き、年少組が置いていたタライにも分厚い氷が張っていました。氷ができていたら、手で触っては、なでなでしているかわいい様子がありました。

中旬には春一番のような突風！風が強くて、せっかく作った凧が手から離れ飛んでいくというハプニングもありましたが、手で持っているだけでふわーと上がっていくビニール凧に大喜びでした。春はもうそこまで来ていますね。



水仙を飾ってお茶会をしました

年長組が先日お茶会をしました。赤いテーブルの上には水仙の花とお雛様のお香合が飾られ茶釜から立ち上る湯気を見ながら、日常のエネルギー溢れる保育の時間とはまた違う静かなひと時を過ごしました。真剣な表情でお点前を見ており、お茶を頂くまでにたくさんの所作があることも感じ取ったようでした。

講師の先生に甘いお菓子を頂いてお抹茶を飲むととてもおいしいという話や、お抹茶を飲むと風邪予防になるという話もして頂き、いよいよみんなが頂く番になりました。「ちょっと大人の味がする」「美味しかった」「お代わりしたい」など、たくさんの感想がありました。春には一年生。みんなで過ごしたたくさんの日々を大事な思い出に巣立って欲しいと思いました。

色々な日本昔話の絵の清水焼のお椀を拝見しています